

# 経営比較分析表

熊本県 合志市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	72.73	98.68	2,410

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
59,702	53.19	1,122.43
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
59,212	38.73	1,528.84

## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

【現状】  
経営の健全性・効率性を示す指標は、概ね良好な水準にあるといえますが、有収率については、平成23年度を除けば、類似団体及び全国平均を下回っている状況です。また、複数の要因により、平成25年度以降に流動比率の低下がみられます。

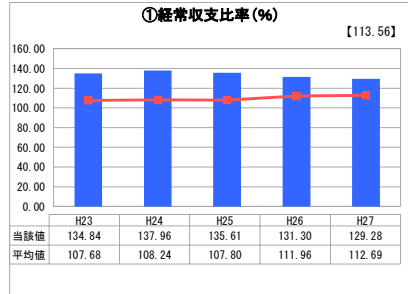
【要因】  
配水管の老朽化に起因する漏水があるものと考えており、毎年漏水調査を実施し、配水管の漏水修繕等に取り組んできたところです。  
【過年度決算における配水及び給水費(税抜)】  
H23 31,209千円  
H24 27,097千円  
H25 31,459千円  
H26 24,595千円  
H27 29,959千円  
一方、平成25年度からの流動比率の低下は、配水施設の整備等による建設改良費の増加に伴って現金預金が減少及び未払金が増加し、また平成26年度からの会計制度改正も影響しているものです。

【今後の対策】  
配水管の漏水については、短期間での改善ができるものではありませんが、引き続き調査及び修繕を継続していきます。  
【配水及び給水費(税込)】  
H28 35,749千円  
H29 36,470千円  
流動比率については、当分の間今と同程度の水準を確保する見込みです。(H28 503.85%、H29 358.62%)

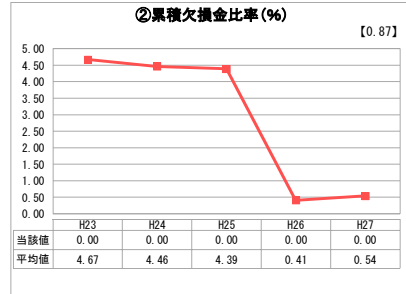
### 2. 老朽化の状況について

類似団体平均値及び全国平均値を若干上回っており、老朽化がやや進んでいることが伺えます。  
現在、配水施設の整備増強を進めており、将来的には、小規模配水施設等の統廃合を進める計画です。

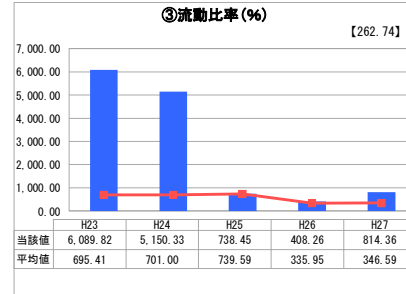
## 1. 経営の健全性・効率性



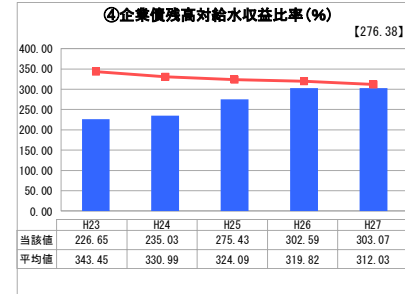
「経常損益」



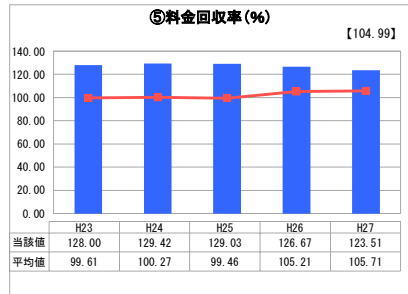
「累積欠損」



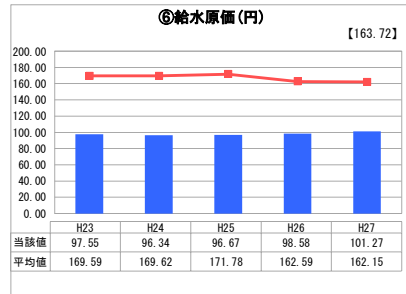
「支払能力」



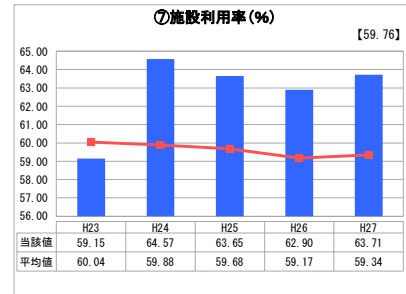
「債務残高」



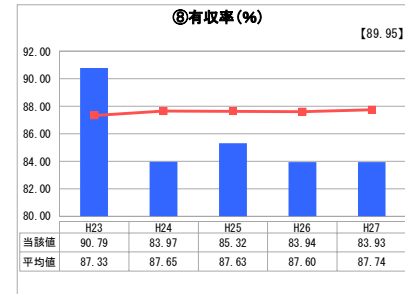
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

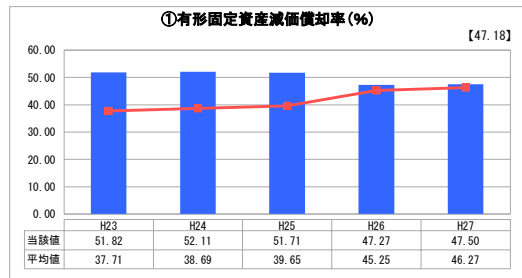


「施設の効率性」

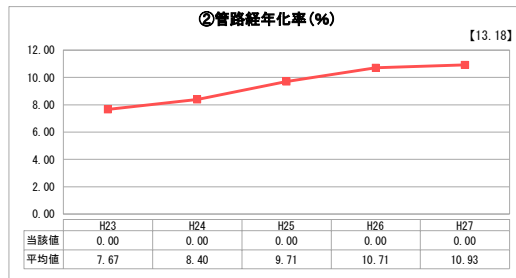


「供給した配水量の効率性」

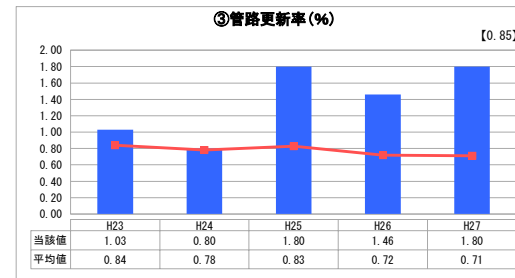
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 全体総括

有収率の低迷もあって、配水管の布設替工事を毎年進めているところですが、ここ数年は、簡易水道と上水道の統合、配水施設(御代志第2配水池、木原野配水池)の築造も行なっているため、管路の更新だけではなく、全体的な水の安定供給に係る配水機能の改善等にも取り組んでいるところです。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。